

# 地方都市視察報告書

環境建設委員会

## 1 実施日

平成27年10月22日（木）

## 2 視察地 石川県金沢市

### 【市の概要】

(1) 面積 468.64 km<sup>2</sup>

(2) 人口・世帯数（平成27年7月1日現在）

人口 453,643 人

世帯数 201,160 世帯

(3) 金沢市は、石川県のほぼ中央に位置し、東側は白山連峰の丘陵地で富山県に、南北は1市3町に隣接し、西側は日本海に面している。市域は、白山山系から連なる山々を背に日本海に至り、起伏に富んだ地形となっている。天正11年（1583年）前田利家が金沢城に入城して以来、加賀、能登、越中を合わせた加賀百万石の城下町として繁栄し、加賀友禅や金箔、九谷焼などの伝統工芸や、能楽や加賀万歳などの伝統芸能が受け継がれてきた。また戦災や大きな災害を免れたため、美しい街並みが現在でも多く残っている。本年3月の北陸新幹線開業を機に、開業効果を最大限に引き出し、魅力と活力あふれるまちづくりを進めている。



## 3 視察項目・内容

(1) 金沢市低炭素都市づくり行動計画について

(2) 中心市街地都市機能向上基本構想について

## 4 視察参加者

### 【委員】

ひやま真一委員長

豊島あつし副委員長

井下田栄一委員

三雲崇正委員

川村のりあき委員

佐原たけし委員

のづケン委員

近藤なつ子委員

### 【随員】

議会事務局調査管理係

新川 金七

議会事務局議事係

佐藤 公彦

## 5 視察結果・所感

本年3月の北陸新幹線の開業効果は大きなものがあり、市内に集積している観光スポットはもとより、市街地中心部は車の通行量や散策する観光客の歩行者が大変多く、賑わいと活気にあふれていた。

市街地は戦災を免れた加賀百万石以来の城下町の伝統的な街並みと、香林坊・片町エリアを中心とした商業・オフィスビルが立ち並ぶ近現代的な街並みが混然一体となって調和し、それが大きな魅力となっている。

中心市街地都市機能向上基本構想については、その策定にあたり、都市機能が集積している金沢駅周辺エリア、武蔵エリア、片町エリアを主とした拠点間の移動性、利便性の向上を図るため、戦災を免れ旧来の道路、用水、寺社、斜面緑地がほぼ残されている地域特性を踏まえつつ景観にも配慮しながら、開発と保全の均衡を図っている内容が、多様なエリアを併せ持つ新宿区の状況にも似て、大変通じるものがあった。また、来街者にわかりやすい交通案内表示や、バス以外の交通手段としての新交通システムの検討など、さらなる発展に向けての課題も鋭意、取り組んでいるとのことだった。

金沢市低炭素都市づくり行動計画については、市内の公共施設の屋上を利用した市民ファンド出資による太陽光発電設備の設置運営、浄水場の落差水を利用したマイクロ水力発電、間伐材等を加工した燃料（ペレット）を利用するペレットストーブの普及等、地域の特性を生かした多くの取り組みの説明を受け、大変参考になった。

## 6 主な質疑項目

- (1) 地域コアとなる金沢駅周辺、武蔵が辻、香林坊地区を結ぶ移動性の確保について
- (2) 将来に向けたLRTなどの新交通システム等のあり方の検討状況について
- (3) 中心市街地のモール化の検討について
- (4) 保育所等への市民発電所（太陽光発電パネル設置ファンド）設置の事業スキームについて
- (5) マイクロ水力発電について
- (6) ペレットストーブの普及状況と予算規模について
- (7) 再生利用可能エネルギーによる自給率の向上について

\* 金沢市立工業高等学校の校舎屋上設置  
太陽光発電パネル



\* 金沢市街地中心部の様子  
(百万石通り)

